

2020年度 第1四半期 決算補足資料

2020年8月6日

2020年度 第1四半期決算のポイント

(単位：百万円)

	2019年度 第1四半期 (利益率)		2020年度 第1四半期 (利益率)		前期比増減	
売上高	31,953	－	15,524	－	△16,429	△51.4%
営業利益	576	(1.8%)	△3,020	－	△3,596	－
経常利益	537	(1.7%)	△2,589	－	△3,127	－
当期純利益	289	(0.9%)	△3,190	－	△3,479	－

《全体感》

- 売上：新型コロナウイルス感染症に伴う国内外工場の操業停止により生産量が急減。アルミ地金市況の下落等の影響（約7億円）もあり前期比半減
- 営業利益：売上高の大幅な減少により固定費負担が大きくなり営業赤字
- 経常利益：営業外に雇用調整助成金（3.6億円）等の計上があり減益幅縮小
- 当期純利益：全セグメントで新型コロナウイルス感染症の影響を受け純損失を計上

ダイカスト事業

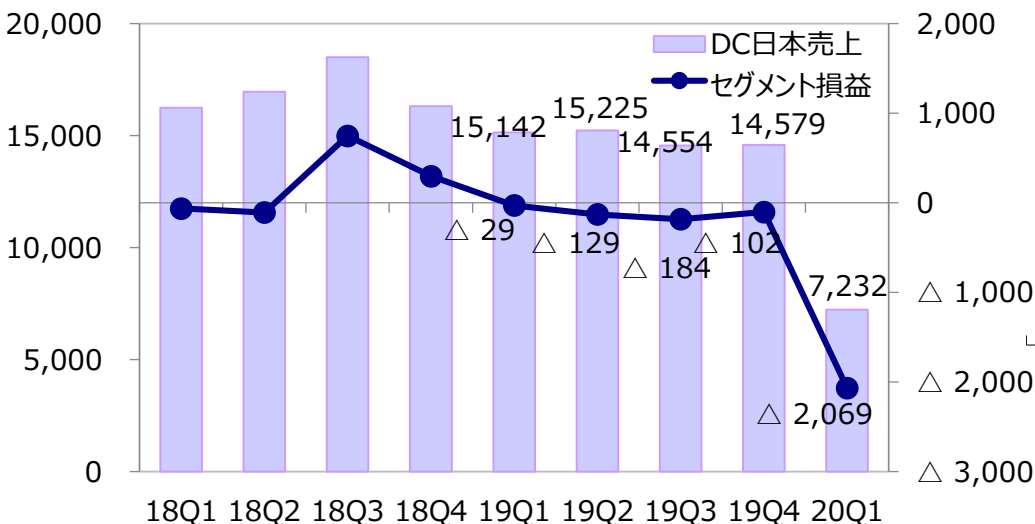
(単位：百万円)

		2019年度 第1四半期（利益率）		2020年度 第1四半期（利益率）		前期比増減	
日本	売上高	15,142	—	7,232	—	△7,909	△52.2%
	セグメント損益	△29	—	△2,069	—	△2,039	—
北米	売上高	9,029	—	4,742	—	△4,286	△47.5%
	セグメント損益	462	(5.1%)	△156	—	△619	—
アジア	売上高	5,810	—	2,257	—	△3,552	△61.1%
	セグメント損益	△63	—	△995	—	△932	—

※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算のため、第1四半期は1～3月の売上利益となります。

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



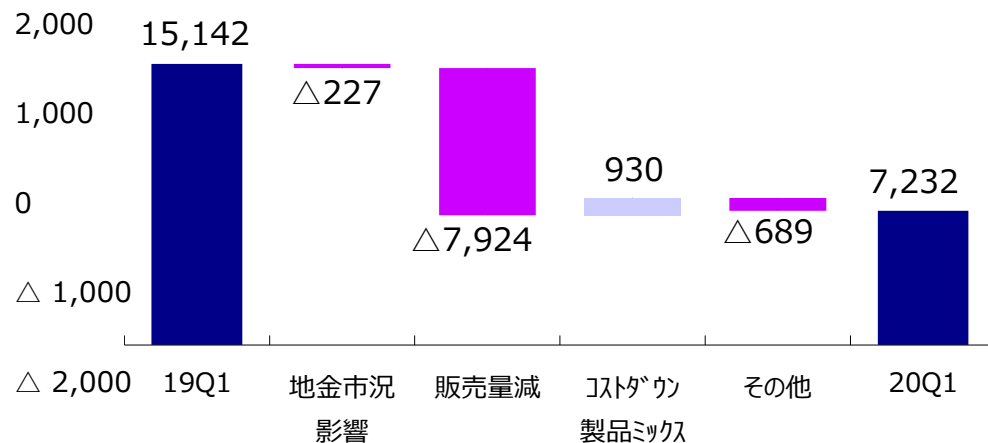
売上：79.0億円減（前期比52.2%減）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により4月中旬から顧客の生産に合わせ工場を一部操業停止、販売量も前期比▲58%と大幅に減少

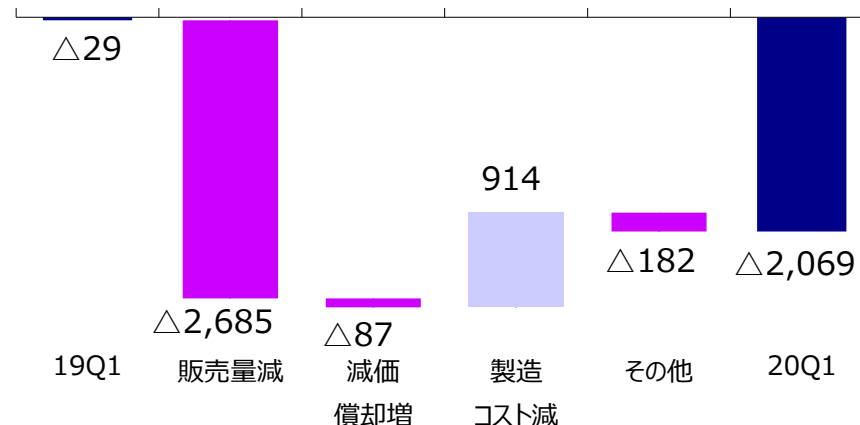
セグメント損益：20.3億円減（前期比減）

- 販売量の急減でセグメント損益は▲20.7億円の赤字（雇用調整助成金は営業外で計上）
- 売上急減に対応し、生産体制の見直し、稼働日数の調整など緊急策を強化推進

売上高増減要因（単位：百万円）

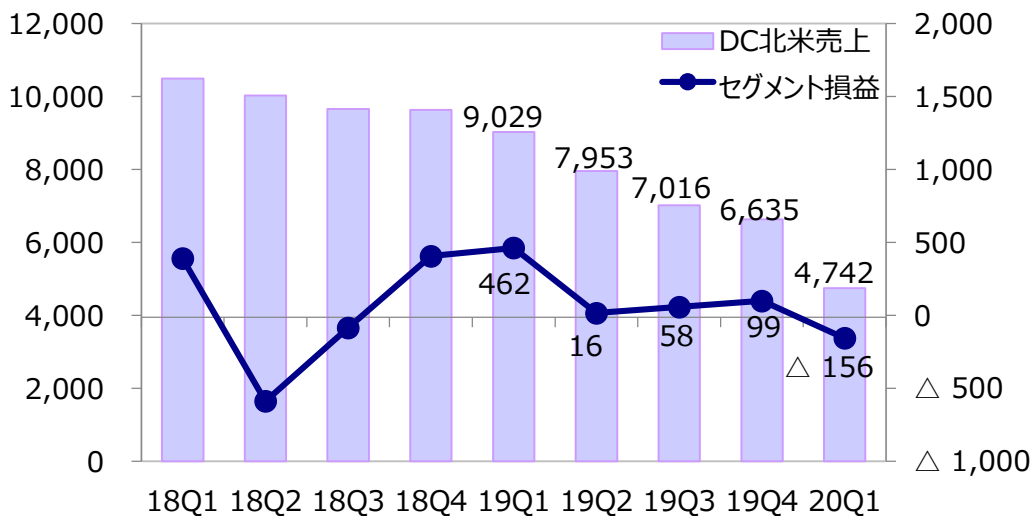


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



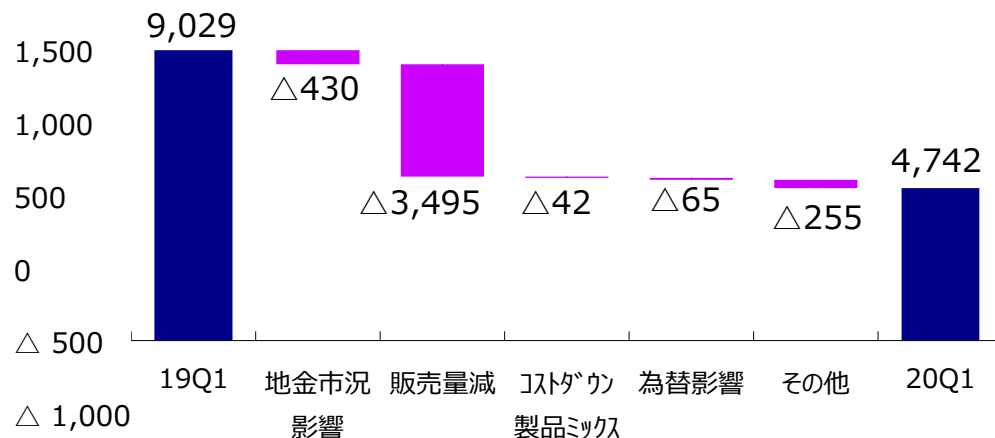
売上：42.8億円減（前期比47.5%減）

- アメリカは操業停止により販売量が大きく減少（前期比▲76%）
- メキシコの1Qは1～3月のため、新型コロナウイルスの影響は少ないものの、主要顧客の減速により減収

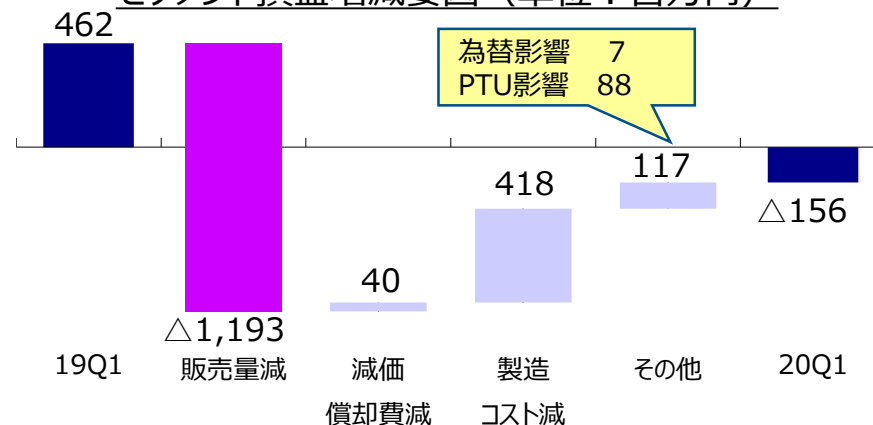
セグメント損益：6.1億円減（前期比減）

- アメリカは販売量急減に、生産・人員体制調整で対応
- メキシコは販売量減の影響を受けるも、収益計上

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）

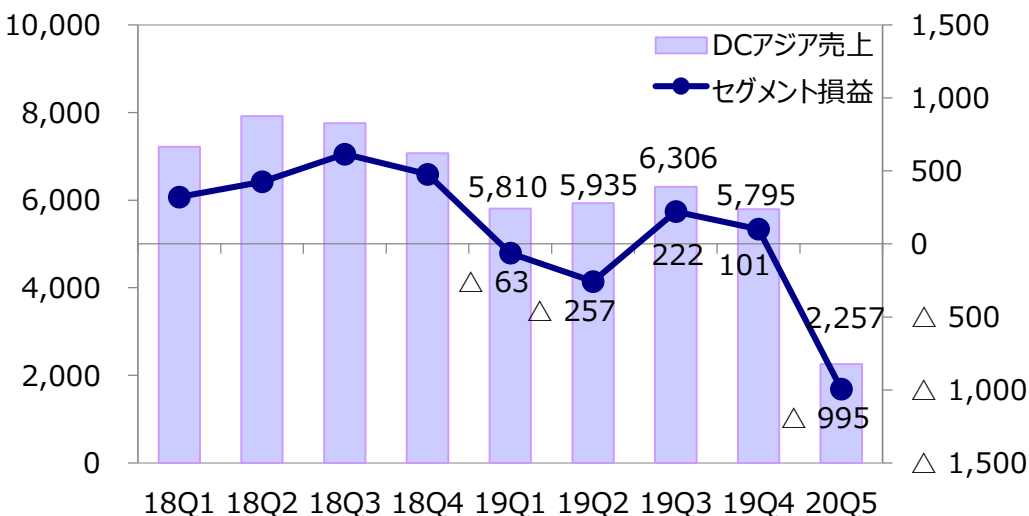


決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期

レート（19Q1⇒20Q1）アメリカ 110.06 ⇒107.75 メキシコ 110.51 ⇒109.23

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：35.5億円減（前期比61.1%減）

- 中国2拠点では1Qにあたる2月に休業、3月も一部稼働となり販売量減（前期比▲54%）により減収
- インドは4、5月が休業となり販売量も急減（前期比▲90%）

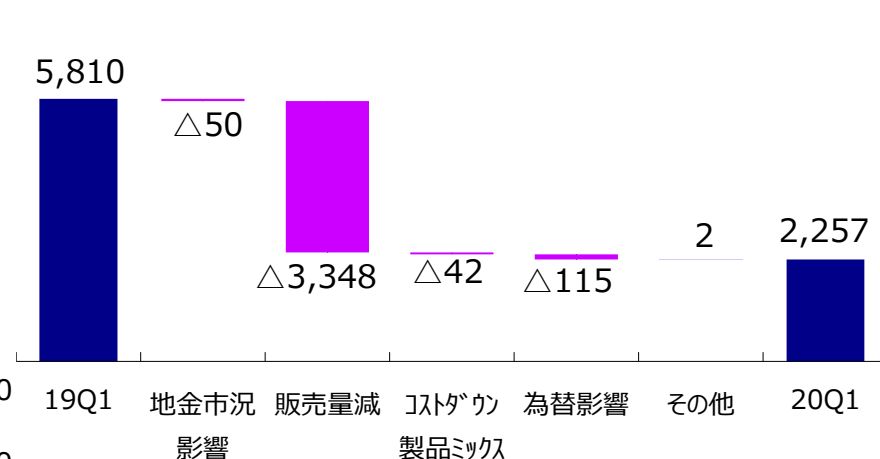
セグメント損益：9.3億円減（前期比減）

- 中国・インドの売上高減少の影響により損失計上

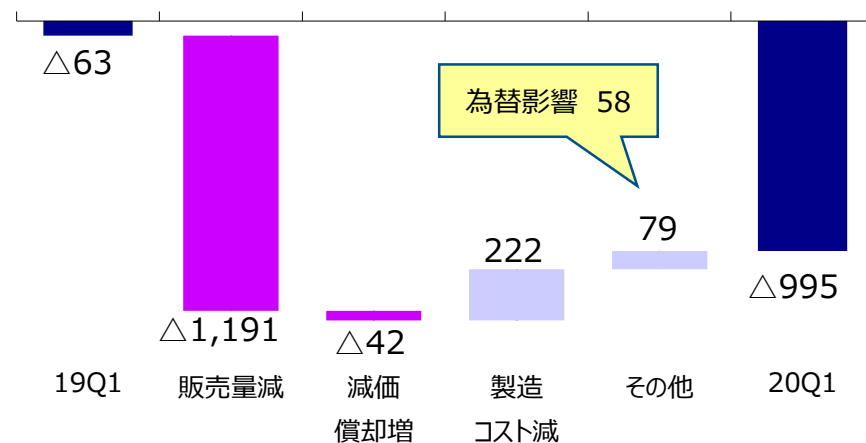
決算期：中国12月期、インド3月期

レート（19Q1⇒20Q1） 人民元 16.39 ⇒15.56 インドルピー 1.58 ⇒1.43

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2019年度 第1四半期（利益率）		2020年度 第1四半期（利益率）		前期比増減	
アルミニウム 事業	売上高	1,025	－	646	－	△378	△37.0%
	セグメント損益	67	(6.5%)	△40	－	△108	－
完成品事業	売上高	945	－	644	－	△301	△31.8%
	セグメント損益	48	(5.1%)	108	(16.8%)	60	124.7%

アルミニウム事業

- 売上：新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少、アルミ地金市況の下落等により減収
- セグメント損益：売上高の大幅な減少により減益

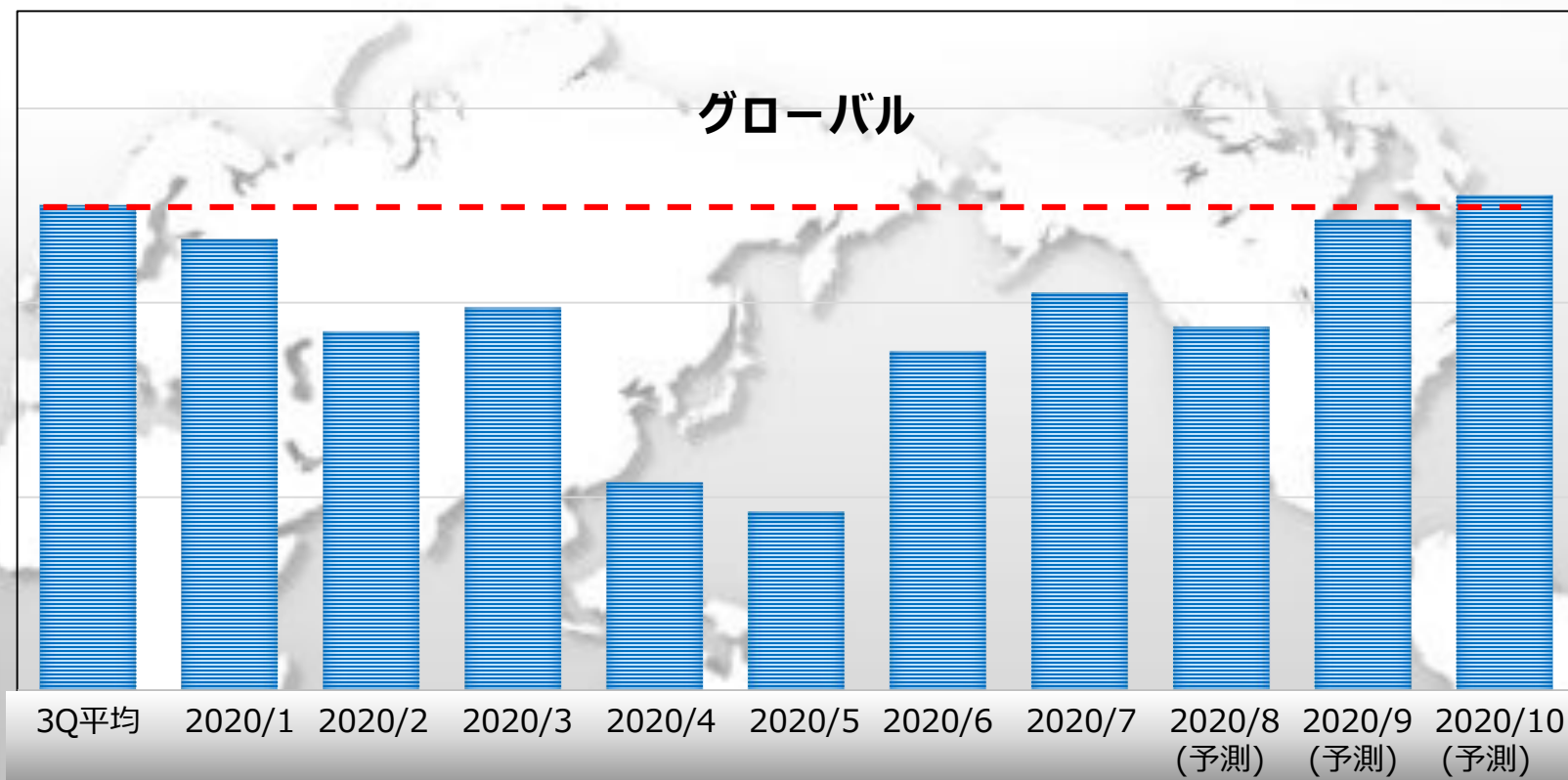
完成品事業

- 売上：クリーンルーム等の大型物件の受注が前期を下回り減収
- セグメント損益：原価低減等により前年以上の利益率を確保し増益

グローバル 売上重量

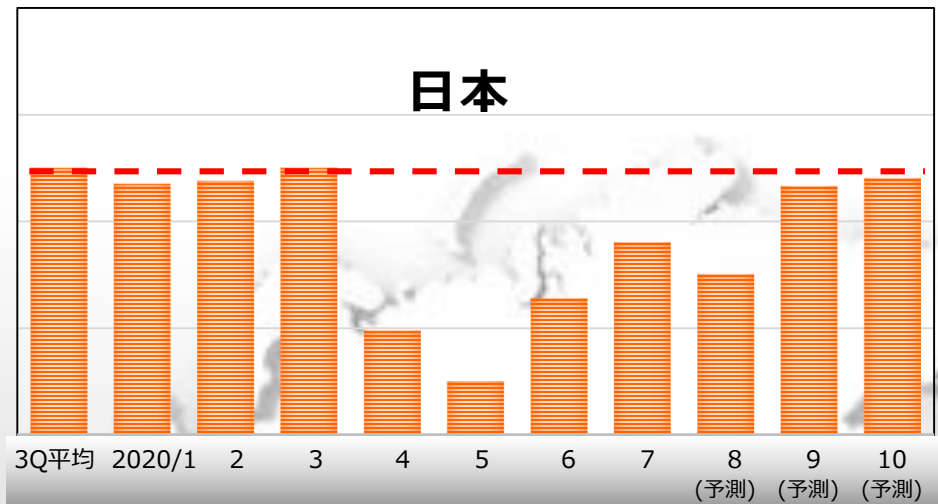
■ グローバルでは4～5月を底に回復基調

※新型コロナウイルス禍以前の19年10月～12月の3Q平均値を100とした場合の売上重量



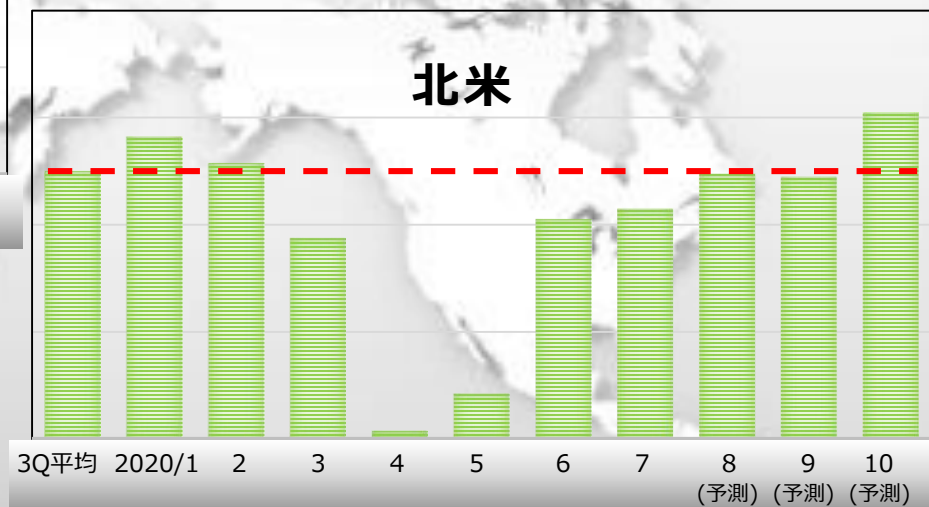
セグメント別 売上重量

日本

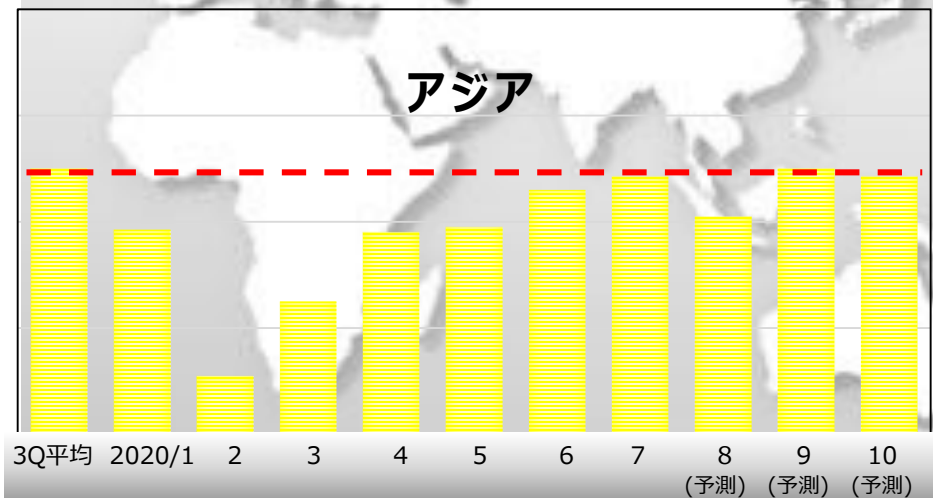


※新型コロナウイルス禍以前の19年10～12月の3Q平均値を100とした場合の売上重量

北米



アジア



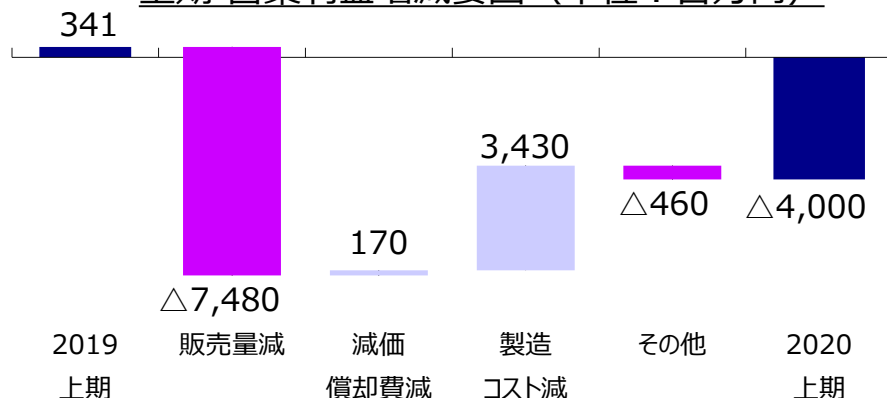
2020年度 通期計画

(単位：百万円)

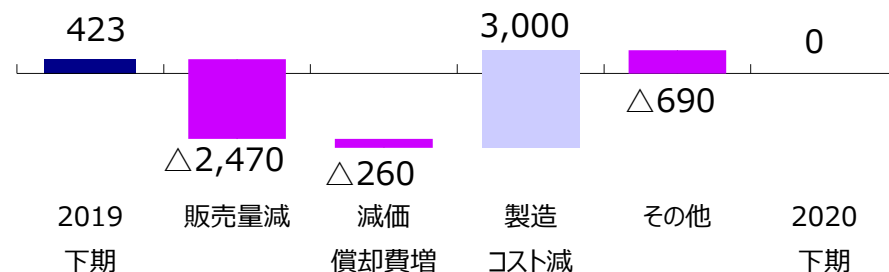
	2019年度 実績	2020年度計画			前期比増減	
		通期	上期	下期		
売上高	120,577	87,900	36,300	51,600	△32,677	△27.1%
営業利益	764	△4,000	△4,000	0	△4,764	—
経常利益	406	△3,450	△3,300	△150	△3,857	—
当期純利益	△685	△4,400	△4,200	△200	△3,715	—

※2020年度通期販売量 前期比△23.2%

上期 営業利益増減要因 (単位：百万円)



下期 営業利益増減要因 (単位：百万円)



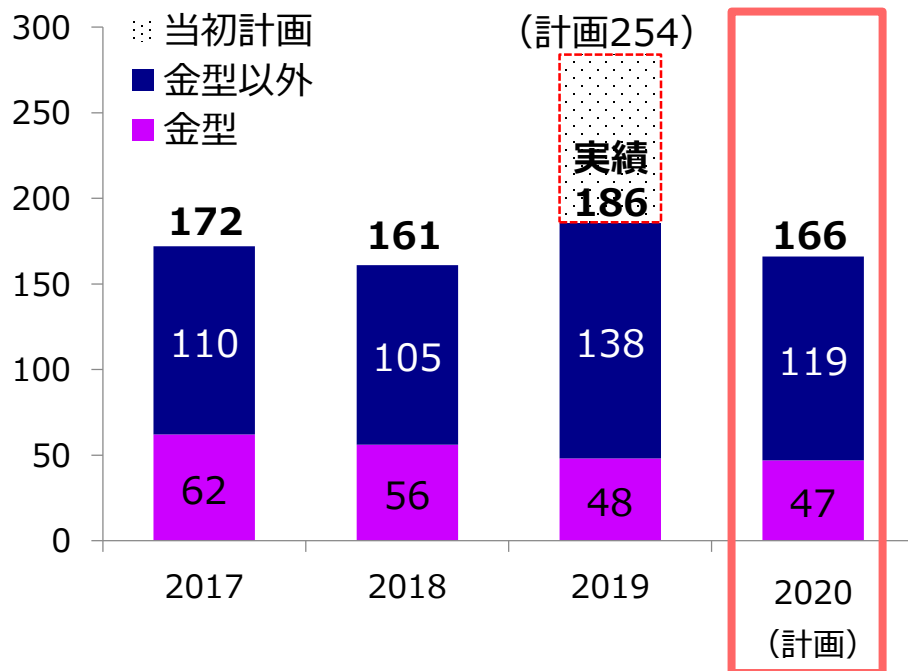
実績の為替レート (通期平均) : USD 米109.13円 メキシコ109.39円 人民元 15.85円 ルピー 1.54円
 計画の前提レート : USD 105.0円 人民元 15.0円 ルピー 1.45円

設備投資・減価償却の動向

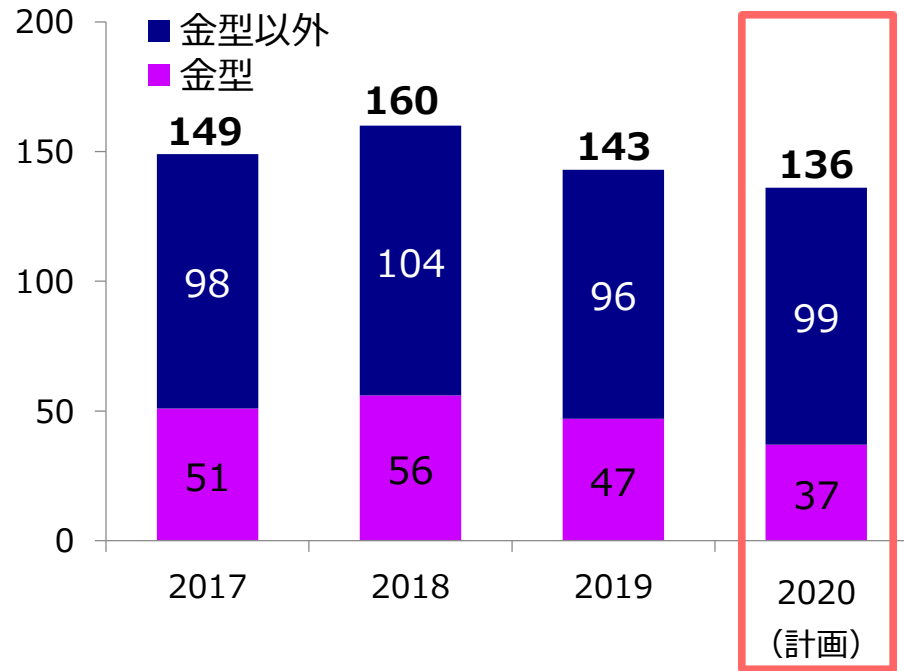
2020年度

- 投資内容 : 投資内容のゼロベースでの見直し、社内の遊休設備等の活用により投資抑制を図る
- 設備投資金額 : 合計166億円（一般設備投資 119億円、金型投資 47億円）
- 減価償却費 : 136億円（前年比▲7億円）の計画

設備投資額の推移（単位：億円）



減価償却費の推移（単位：億円）



配当

当期におきましては、本日開示いたしました業績予想を鑑み、今後の市場動向や財務状況などを総合的に勘案した結果、2021年3月期の中間及び期末配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げるとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。